



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

上場会社名 ラサ工業株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 庄司 宇秀
 (コード番号 4022)
 問合せ先責任者 経理部次長 桐山 知之
 (TEL 03-3278-3892)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表した業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1)平成 30 年 3 月期 第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	850	700	500	63.06
今回修正予想 (B)	12,800	1,200	1,100	900	113.52
増 減 額 (B-A)	300	350	400	400	
増 減 率 (%)	2.4	41.2	57.1	80.0	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	11,159	648	445	1,137	143.41

(2)平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,000	1,700	1,400	1,000	126.13
今回修正予想 (B)	26,000	2,100	1,900	1,500	189.19
増 減 額 (B-A)	0	400	500	500	
増 減 率 (%)	0.0	23.5	35.7	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	23,283	1,622	1,342	1,726	217.71

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1 株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

(3) 修正理由

(第 2 四半期連結累計期間)

第 2 四半期累計期間は、好調な世界経済に支えられ、日本経済も企業収益は緩やかに回復し、個人消費も底堅く推移しました。

このような状況の中、化成品事業においては、半導体向け高純度磷酸他の販売が順調に推移し、期初予想

を上回る見通しであります。機械事業においては、下水道関連の掘進機は海外向けの販売が低迷いたしました。破砕関連機械は概ね予想通りプラントなどの販売が実現いたしました。また、利益率の改善があったことから、機械事業は期初予想に対して減収増益となる見通しであります。電子材料事業においては、塗布剤の販売が予想を下回りましたが、レアメタル商品市況がやや改善したことから、期初予想を上回る見通しであります。

このような見通しから、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を上記のように修正いたします。

(通期)

今後の経済見通しにつきましては、好調な世界経済の中にも、先進各国の政策、中国経済の行方並びに中東、東アジアの地政学リスクなど無視できない大きな不確実性があります。

このような状況の中、化成品事業においては、半導体向け高純度燐酸について、減価償却費の増加などコストアップはありますが、販売は好調に推移するものと想定しております。機械事業においては、下水道関連の掘進機の海外向け販売は低調なものになると見込まれますが、破砕関連機械の受注は堅調に推移しております。電子材料事業においては、高純度無機素材の損益に改善の兆しがありますが、塗布剤の販売が一部先送りとなっております。

これらの見通し及び第 2 四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、平成 30 年 3 月期通期の業績予想を上記のように修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金(円)				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 29 年 5 月 15 日発表)	—	—	—	20 円 00 銭	20 円 00 銭
今回修正予想	—	—	—	30 円 00 銭	30 円 00 銭
当期実績	—	—	—		
前期(平成 29 年 3 月期)実績	—	—	—	2 円 00 銭	2 円 00 銭

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。なお、平成 30 年 3 月期の 1 株当たり年間配当金(予想)については、当該株式併合を考慮した額であり、株式併合を考慮しない場合、前回予想は 1 株につき 2 円、今回修正予想は 1 株につき 3 円となります。

(2) 修正の理由

当社の利益配分につきましては、株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善及び将来の設備更新・拡充等、事業展開のための原資である内部留保との調和を総合的に検討し決定することが、株主の安定的・継続的な利益に繋がるものと考え、これを基本としております。

当期は、今回の業績予想の修正を踏まえ、利益配分方針を総合的に勘案した結果、配当予想を上記のように修正し、1 株当たり 30 円といたしました。

(注) 本予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上